



小さな窓

学校ホームページのギャラリーを随時、更新しています。どうぞご覧ください。

「言葉の力」

副校長 内藤 章

先月、「左手のピアニスト」岡田侑子さんが高山小に来校し、素敵なピアノを聴かせてくれました。心が込められた音色は私たちに感動を与えてくれました。全校児童からは「スマイル アゲイン」の歌をプレゼントしました。体育館に響く子どもたちのメッセージは、岡田さんの心にしっかりと届きました。

「言葉」は心を伝える、相手の心を受け取る重要なツールです。学校では、友達や先生と、家庭では家族とのつながりを深めます。考える時も「言葉」は大切です。語彙を増やすことで、伝える力、受け取る力、考える力が高められます。

高山小学校の子どもたちは、授業中に自分の考えを話し、友達の意見を聴く中で、比較して自分の考えを深めていくことができます。先生は、問いに対して子どもたちが主体的に意見を出し合い、解決できる授業を展開できるように授業を進めています。自分で考え、悩み、解決したことは、自分の中に残り、他の場面でも活用できる力として積み重なっていきます。真の学びとは、このような日々の積み重ねだと思えます。

4月に高山小学校の児童と出会って、心を動かされる出来事がたくさんあります。真剣に、気持ちを込めて物事に取り組んでいるからこそ、人の心を動かすのだろうと思います。異年齢の子どもたちが生活する学校は、将来の自分の土台をつくる場であり、将来広い社会に出るための学びの場です。たくさんの人と、たくさんの言葉を遣い、たくさんの経験をしてほしいと思っています。

声に出す言葉、自分の心の中の言葉、私たちは「言葉」を遣ってコミュニケーションをとり、考えを深めています。また、一言が心を前向きにしたり、悲しい気持ちにさせたりします。学校でも、家庭でも「言葉」を大切にして、1学期のまとめ、そして夏休みを過ごしてほしいと願っています。

○音楽会の保護者鑑賞日について

2学期、11月17日(土曜日)に行われます音楽会保護者鑑賞日は、午前の部、午後の部のプログラムで行います。午前の部、午後の部は、同じ曲目で行い、下校時刻は15時20分になります。

詳細は後日、別紙にてご通知します。

音楽会実行委員会

7月の行事予定

2日(月) 全校朝会 保護者会(1, 2年) 児童会生徒会役員会	11日(水) たてわり集会 クラブ活動(4~6年)
3日(火) 社会科見学(4年) 保護者会(5, 6年)	17日(火) 道徳授業地区公開講座
4日(水) 音楽朝会 委員会(5, 6年)	18日(水) 音楽発表会 委員会(5, 6年)
5日(木) 都学力調査(5年)	19日(木) 給食終
6日(金) 保護者会(3, 4年, わか竹学級)	20日(金) 終業式
9日(月) 全校朝会 避難訓練(清掃時)	23日(月) ~ 31日(火) 個人面談
10日(火) 読み聞かせ(1~3年)	24日(火) ~ 31日(火) 前期夏季水泳



7月のめあて

生活 1学期を振り返り、夏休みを充実させよう

安全 暑い日の安全について考えよう

保健 身の回りを清潔にしよう



学園サポーターと 共につくる学び

力強い味方です！

第4学年担任 北川 史朗

本年度から本格的にスタートした学園サポーターの方々には、4年生が、いの一にお世話になりました。理科の「春の生き物」の学習で井の頭自然文化園の引率をお願いしました。井の頭公園までは比較的安全な道ではありますが、クラス1名のサポートをしていただいたことで、安心してクラスの先頭を歩くことができました。また、自然文化園の中でも、生き物に夢中の子どもたちに声をかけていただいたり、一緒に生き物を発見してくださったりと楽しみながらサポートしていただいたのがとてもうれしく、ありがたかったです。今後も7月3日には清掃工場「クリーンプラザふじみ」の見学があり、そこでも引率のお手伝いをお願いしています。また、今後は校外学習の引率以外にも、書き初めやそろばんなど担任だけでは一人ひとりを細かく見てあげることが難しい学習などを中心にスクールサポーターのお力をお借りして、楽しく、安全な学校生活を送れるようにしていきたいと考えています。

水泳学習

水泳が始まりました

水泳担当 柳下 将

先月18日から水泳学習が始まりました。気候や水温が整い次第、各学年プールに入ります。別紙のお便りを参考にご準備をお願いします。

高山小学校では、1年生から6年生まで各学年間での系統性を意識して水泳学習を進めていきます。得意な子も、苦手な子も、しっかりと自分の目標をもって、「水の中で活動することが楽しい」と感じられるように支援していきます。また、水の事故から自分の命を自分で守ることができるようになることもねらいの一つです。

楽しく安全に、一人ひとりが力を伸ばす学習になるよう心掛けていきます。ぜひご家庭でも、健康管理に加えて、やる気が高まるような温かい励ましや声かけをしていただきますよう、よろしく申し上げます。

また、夏休みにも水泳指導を実施します。後日、参加の可否を含めたお便りを配布いたします。ご確認の上、ぜひご参加ください。



特別の教科 道徳

なぜ特別？ 評価について

道徳部主任 浅田 航平

平成32年度から新学習指導要領の全面実施に伴い、道徳の時間は「特別の教科 道徳」となり、評価も行われるようになります。

三鷹市では、先行して今年度から「特別の教科 道徳」を実施し、評価も行います。そこで、「特別の教科 道徳」と「評価の仕方」についてお知らせしたいと思います。

まず、今回教科化される道徳ですが、なぜ特別かという、「学校における道徳教育は、道徳の時間を要として、他教科や教育活動全体を通して行われる」とされています。そんな教育活動全体を通じて行われる、道徳教育の中核を成す教科である道徳科は、道徳教育の要であるがゆえに「特別の教科 道徳」といえます。

次に評価の仕方についてですが、記述による評価を行います。これは他者との比較や目標到達度に到達したか否かを見るのではなく、児童一人ひとりに注目し、以前よりどれだけ道徳的成長があったかを見取ることとなります。

主体的・対話的で深い学び

「町が大すき たんけんたい」

第2学年担任 小林 史典

生活科「町たんけん」では、地域の人々と関わったり、公共施設を利用したりすることを通して、親しみや愛着を深めることを目標に学習しています。

学園サポーターの方に協力をいただき、学区内を3日間に分けて見て回った後、クラスを5つのグループに分けて、学童・石井農園・牟礼コミュニティセンター・東多世代交流センター・東部図書館を見学しました。各施設の中を案内してもらったり、事前に考えた質問に答えてもらったりして、詳しく学びました。教室に戻ってからクラスごとに、それぞれが見てきた場所について、グループで新聞にまとめる予定です。

子供たちは、普段慣れ親しんでいる地域の知らないことを発見しようと、主体的に取り組んでいました。また、グループで協力して質問を考えたり、見学してきたことをまとめたりする過程で対話が生まれています。お互いの新聞を見合うことによって、地域のことをより深く学び、自ら関わっていくことを期待しています。